

## 管理マニュアル

オンライン資格確認端末  
APX Series MEDICAL Edition

すぐ取り出せる場所に保管してください

本管理マニュアルは、オンライン資格確認端末について説明しています  
システム全体については、厚生労働省の【オンライン資格確認の導入について（医療機関・  
薬局、システムベンダ向け）】ページを参照ください。  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_08280.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08280.html)



使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料



\* M A N U 0 0 1 1 7 4 \*

# もくじ

|   |  |
|---|--|
| <b>注意事項など</b><br>本製品を使う上で、お守りいただきたいご注意です。必ずお読みください。 | <b>使う前に</b><br>オンライン資格確認端末の導入について ..... 3<br>安全のために ..... 4<br>使用上のご注意 ..... 6<br>添付品を確認する ..... 8<br>動作環境 ..... 9<br>各部の名称・機能 ..... 10  |
|   | <b>導入する</b><br>ISS に登録する ..... 12<br>リカバリー USB メモリーを作成する ..... 14<br>設置する ..... 18<br>電源を切る場合 ..... 20   |
| <b>初期設定</b><br>本製品の設置・導入方法です。                       | <b>その他の設定</b><br>パスワード変更 ..... 24<br>IP アドレス設定 ..... 25<br>コンピューター名 / ドメイン名の変更 ..... 26<br>ウイルススキャン ..... 27<br>USB HDD を暗号化する ..... 28<br>バックアップと復元 ..... 31  |
|   | <b>故障時の対応</b><br>故障時の対応や、その他本製品の資料情報です。必要に応じてご確認ください。  |
| <b>詳細設定</b><br>新機能やその他の設定です。初期設定の後に必要に応じてご確認ください。   | <b>故障時の対応</b><br>故障と思ったら ..... 40<br>カートリッジの交換方法 ..... 41<br>システムリカバリーする ..... 44  |
|   | <b>資料</b><br>出荷時設定 ..... 46<br>ZWS Manager ..... 46<br>I-O DATA 製アプリのアップデート方法 ..... 47<br>アフターサービス ..... 48<br>デリバリイ保守パック サービス内容 / ご利用規約 ..... 52<br>ハードウェア保証規定 ..... 56<br>オンライン資格確認端末利用規約 ..... 57 |

# 使う前に

## 【オンライン資格確認端末の導入について】

本管理マニュアルは、オンライン資格確認端末の導入方法について説明しています。インストールされているアプリや添付の各機器については説明しておりません。また、お問い合わせ先も使用するアプリや各機器によって異なります。詳しくは以下をご確認ください。

|                      |  |
|----------------------|--|
| 日本医師会 ORCA 管理機構提供ソフト | 本端末には文書交換サービス「MEDPost(メドポスト)」クライアントプログラムのインストーラーを同梱しております。MEDPost の詳細および問い合わせ先は同梱のチラシを参照ください。<br>※「MEDPost(メドポスト)」クライアントプログラムのご利用についてはオンライン資格確認端末を起動し、[ORCAMO MEDPost\Manual] フォルダをご確認ください。<br>お問い合わせについては、【アフターサービス】(48 ページ)をご確認ください。   |
| オンライン資格確認            | オンライン資格確認に関するお問い合わせは、【オンライン資格確認のお問い合わせ (2022 年 10 月時点)】(48 ページ)をご確認ください。   |
| 顔認証端末 (別途用意)         | 顔認証端末に関するお問い合わせは、【顔認証端末 各社お問い合わせ】(49 ページ)をご確認ください。   |
| NFC リーダライタ (本製品添付品)  | NFC リーダライタ添付の取扱説明書にしたがってご利用ください。<br>※ NFC リーダライタのご利用のためには、本製品に保存されているデバイスドライバーをインストールします。オンライン資格確認端末を起動し、デスクトップ上の [I-O DATA] フォルダを開き、[usbnfc4_***] フォルダをご確認ください。(※はバージョン番号)<br>インストール方法については、NFC リーダライタ添付の取扱説明書をご覧ください。<br>※他のカードリーダー用ドライバーをすでにインストールしている場合は、そのドライバーをアンインストールしてから、本製品のドライバーをインストールしてください。<br>お問い合わせについては、NFC リーダライタ添付の取扱説明書に記載の【アフターサービス】をご確認ください。 |
| オンライン資格確認端末          | オンライン資格確認端末の故障時は、【故障時のお問い合わせ】(50 ページ)をご確認ください。   |

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

# 安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼警告および注意表示

|   |   |
|---|---|
|  <b>警告</b> | この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。            |
|  <b>注意</b> | この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。 |

▼絵記号の意味

-  禁止
-  指示を守る

 **警告**

**本製品を修理・改造・分解しない**  
 発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

**雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない**  
 感電の原因になります。

**故障や異常のまま、つながない**  
 本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

**ACアダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない**  
 水や洗剤などがACアダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。  
 ・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。  
 ・水の入ったもの（コップ、花瓶など）を上に乗かないでください。  
 ・万一、ACアダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

**本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない**  
 誤って飲み込み、窒息や胃などのへ障害の原因になります。  
 万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

**本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない**  
 発火の原因になります。

**本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ず本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてからおこなう**  
 電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。

**決められた電源で使用する**  
 所定以外の電源で、本製品を使用すると発火・感電の原因になります。

**煙がでたり、変なおいや音がしたら、すぐ使うのを止める**  
 そのまま使用すると発火・感電の原因になります。

 **警告 ●電源（ACアダプター・コード・プラグ）について**

**ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない**  
 電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

**添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながない**  
 発火や感電の原因になります。  
 添付のACアダプターや電源コードは、本製品専用です。

**AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない**  
 発火、発熱のおそれがあります。

**コンセントまわりは定期的に掃除する**  
 長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）  
 トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

**熱器具のそばに配線しない**  
 電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

**電源コードやACアダプターにものをせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない**  
 電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。  
 電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

**煙がでたり、変なおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く**  
 そのまま使うと発火・感電の原因になります。

**ゆるいコンセントにつながない**  
 電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

**じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない**  
 発火の原因になります。

**電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない**  
 電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、発火や感電の原因になります。

**テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない**  
 テーブルタップの定格容量（1500Wなどの記載）を超えて使用するとテーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

 **注意**

**本製品を踏まない**  
 破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

**取り付け、取り外しの際は手袋をつける**  
 ハンダ付けの跡やエッジ部分などがとがっている場合があります。誤って触れると、けがをするおそれがあります。

**人が通行するような場所に配線しない**  
 足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

# 使用上のご注意

## 《重要》データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。  
 万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。  
 本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などを行うこともできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

### バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。）  
 万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

## 最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

## 本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

- ハードディスクに記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業をおこなっただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。
- ※ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。
- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

## その他のご注意

- 動作中に本製品や外付HDDの電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
- 本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。本製品にグローバルIPアドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。
- 動作確認がされていないソフトウェアは、インストール（利用）しないでください。本製品の安定運用に影響を及ぼすおそれがあります。動作確認済みのソフトウェアは以下の弊社ホームページをご確認ください。  
[https://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk\\_soft.htm](https://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_soft.htm)
- 本製品を以下のような機能を設定して、利用することはできません。
  - ファイアウォール、VPN、Web キャッシュの役割
  - メールサーバー
  - 認証サーバー（ドメインコントローラー等）
  - ネットワーク・インフラストラクチャ・サービス（Webサーバー等）
- 本製品は「スリープ」には対応していません。

## お手入れについて

- 本製品についてた汚れなどを落とす場合は、本製品の電源を切り、電源コードを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭く。
  - ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わない。変質したり、塗装をいためたりすることがあります。
  - 市販のクリーニングキットは使わない。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。  
 VCCI-A

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

## 添付品を確認する

- AC アダプター (1 個)
- 電源コード (1 本)
- AC プラグ変換アダプター (1 個)
- LAN ケーブル (1 本)
- サポート DVD (1 枚)
- NAS メンテナンスカード (1 枚)
- デリバリティ保守パック お申込みコード (1 枚)
- 管理マニュアル (本書)
- USB マウス (一台) ※本機専用品です。
- USB キーボード (一台) ※本機専用品です。
- NFC リーダライタ (一式)

### NAS メンテナンスカードについて

本製品のシリアル番号 (S/N) が記載されています。  
本製品側面のカードホルダーに入れて保管します。

### AC プラグ変換アダプターの接地接続 (アース接続) についてのご注意

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。  
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。

## 動作環境

### ご注意

- 本製品および純正オプション HDD 以外のご利用はサポート対応外となります。
- 本製品は、RAID 構成により、ハードディスクの故障によるデータの破損およびシステムダウンを防ぐことはできませんが、ウイルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータ損失を防ぐことはできません。USB 接続した HDD などへバックアップしてください。

### 対応外付 HDD、対応 UPS

以下の弊社ホームページをご確認ください。

<https://www.iodata.jp/product/nas/appliance/apx2-medicalqca/>



### ご注意

- 外付 HDD をはじめて本製品に接続して使用する場合は、必要に応じてフォーマットをおこなってください。
- 外付 HDD は、本製品のバックアップ先としてのみ使用してください。

### UPS との電源連動方法について

出荷時設定が「自動」になっており、電源障害により本製品の電源が落ちた際でも復電後に自動で起動します。また、この場合でも元々本製品の電源が入っていない場合は起動しません。

その上で、設定を変更する場合は、以下をお試しください。

- ①本製品の電源投入直後より、USB キーボードの [Delete] キーを押しつづける  
→ BIOS 設定画面が起動します。
- ②カーソルキーで [Chipset] → [ PCH-IO Configuration ] → [State After G3] を選び、  
[Enter] キーを押す

- ③設定値を選び、[Enter] キーを押す

|            |                        |
|------------|------------------------|
| Last State | 前回の状態を維持します。(出荷時設定)    |
| Always On  | 電源復電後、本製品が起動します。       |
| Always Off | 電源復電後、本製品は電源オフのままにします。 |

- ④ [Save & Exit] → [Save Changes and Reset] を選び、[Enter] キーを押す

### ハードウェア仕様

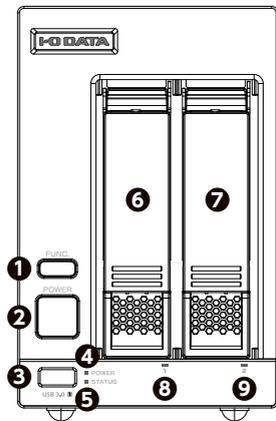
以下の弊社 Web ページをご確認ください。

<https://www.iodata.jp/product/nas/appliance/apx2-medicalqca/spec.htm>



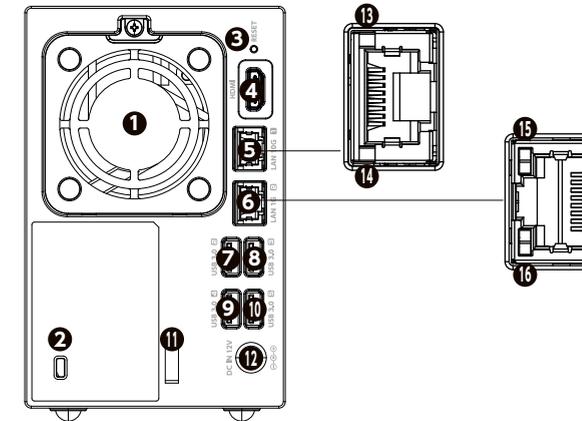
# 各部の名称・機能

## 前面



|              |   |                   |
|--------------|---|-------------------|
| ① FUNC. ボタン  | エラー発生時にブザーが鳴り続けている時、2秒以上押し続けるとブザーを停止します。<br>また、6秒以上押し続けるとあらかじめ登録したプログラムを実行できます。             |                   |
| ② POWER ボタン  | 短押し（1秒程度）→本製品の電源をON/OFFします。<br>※電源ONの状態でも6秒以上押し続けると強制電源OFFになります。<br>6秒以上電源ボタンを押し続けしないでください。 |                   |
| ③ USBポート1    | 増設用USBポートです。(USB 3.2 Gen1)  |                   |
| ④ POWER ランプ  | 消灯  | コンセント未接続          |
|              | 赤点灯   | 電源OFF (コンセント接続済み) |
|              | 緑点灯   | 電源ON              |
| ⑤ STATUS ランプ | 本製品の状態を示します。<br>詳しくは、【故障と思ったら…】(40ページ)をご覧ください。  |                   |
| ⑥ ディスク1      | カートリッジを接続します。   |                   |
| ⑦ ディスク2      | 脱着レバーは、カートリッジを取り出す際に利用します。  |                   |
| ⑧ ディスク1 ランプ  | 青点灯   | 正常認識時             |
|              | 青点滅   | アクセス時             |
| ⑨ ディスク2 ランプ  | 赤点灯   | エラー時              |
|              | 消灯  | 未接続時              |

## 背面



|                       |  |                      |
|-----------------------|--|----------------------|
| ① FAN                 | 冷却用FANです。ふさがないでください。   |                      |
| ② ケンジントンセキュリティスロット    | 盗難対策にケンジントン製ロックを取り付けられます。  |                      |
| ③ RESET スイッチ          | 使用しません。  |                      |
| ④ HDMI コネクター          | ディスプレイを接続します。  |                      |
| ⑤ LANポート1 (10G)       | 添付のLANケーブルを接続します。  |                      |
|                       | ※最大10Gbps(理論値)で通信するには、ネットワークが10GbEに対応している必要があります。LANケーブルについて、55mまではカテゴリ6で対応可能です。 |                      |
| ⑥ LANポート2 (1G)        | 添付のLANケーブルを接続します。  |                      |
| ⑦ USBポート2             | 増設用USBポートです。(USB 3.2 Gen1)   |                      |
| ⑧ USBポート3             |  |                      |
| ⑨ USBポート4             |  |                      |
| ⑩ USBポート4             |  |                      |
| ⑪ ケーブルフック             | ACアダプターが抜けないように引っかけるフックです。   |                      |
| ⑫ DC-IN               | 添付のACアダプターを接続します。  |                      |
| ⑬ Link/Act ランプ (10G)  | 黄緑点灯   | Link 中               |
|                       | 黄緑点滅   | データを送受信中             |
|                       | 消灯   | 未接続                  |
| ⑭ LAN Speed ランプ (10G) | 黄緑点灯   | 10G                  |
|                       | 橙点灯  | 5G/2.5G/1G/100Mのいずれか |
|                       | 消灯   | 未接続                  |
| ⑮ Link/Act ランプ (1G)   | 黄緑点灯   | Link 中               |
|                       | 黄緑点滅   | データを送受信中             |
|                       | 消灯   | 未接続                  |
| ⑯ LAN Speed ランプ (1G)  | 黄点灯  | 1G                   |
|                       | 消灯   | 100M/10M/未接続のいずれか    |

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

# 導入する

## ISS に登録する

### ISS (アイオー・セーフティ・サービス) とは?

アイオー・セーフティ・サービスは、対象製品をより長く安心してご利用いただくために、万が一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。  
設置から、故障時の交換、NAS 入替えのドキュメント引越しサービスまで充実のサービスをご用意。ワンストップでのサービスをご提供いたします。

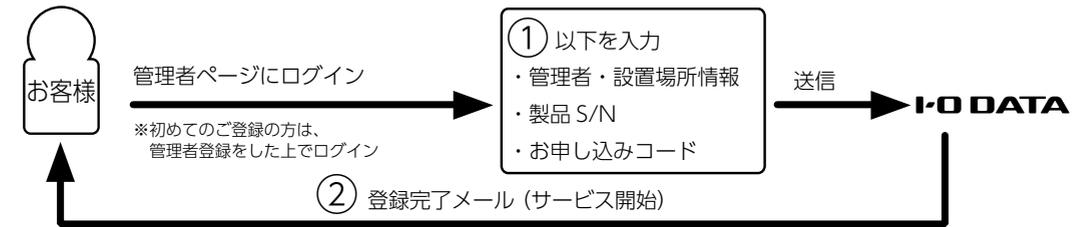
本商品には ISS (アイオー・セーフティ・サービス)、HDD 返却不要デリバリィ保守 (5 年) が含まれております。

本サービスをご利用いただくためには、登録期限内にお申し込みを行う必要があります。

【デリバリィ保守パック サービス内容 / ご利用規約】(52 ページ) の内容に同意の上、登録期限内 (ご購入後 60 日以内) にお申し込みを完了してください。

登録期限を過ぎますと本保守パックは無効となり、サービスをお受けいただけません。

### お申し込み方法



#### ① ISS に申し込みます。

登録画面にログインし、必要事項を入力します。

##### ●必要事項

- ・管理者・設置場所情報
- ・保守対象製品シリアル番号 (S/N: 本体側面にある NAS メンテナンスカードに、製品型番と共に記載されている英数字 12 桁)
- ・別紙記載の「お申し込みコード」

インターネットに接続可能なパソコンから、以下 URL にアクセスします。

<https://www.iodata.jp/support/iss/>



[未登録の方] 下の [こちら] をクリックし、画面の指示にしたがってお申し込みを完了してください。

※詳しい手順は、以下 Q&A ページをご確認ください。  
<https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s31113.htm>



#### ②管理者様に登録完了メールが送信されますので、内容をご確認ください。

登録完了メールには、以下が記載されています。

- 製品シリアル番号
- 保守開始日・保守終了日
- 保守窓口の連絡先 (フリーコールの優先電話回線)
- ※ 弊社から 24 時間以上 (FAX 申し込みの場合は 10 営業日以上) メール連絡がない場合は、ご利用規約に記載の弊社インフォメーションデスクまでお問い合わせをお願いいたします。

また、登録後にオンライン登録画面にログインすると、以下のご利用が可能となります。

- 登録情報の確認・変更
- 保守窓口情報の確認
- 保守期間の延長 (延長可能な場合のみ。別途対象となる保守延長パック製品のご購入が必要です。)
- 保守対象製品・サービスの追加 (別途対象製品と対象となる保守パック製品のご購入が必要です。)
- ※ ご登録いただいた管理者様のメールアドレスがログイン ID となります。
- ※ パスワードを忘れた場合や、登録時に FAX 登録等をご利用でオンライン登録をご利用でないお客様につきましては、ログイン画面で「パスワードを忘れた方」からパスワード照会を行ってください。

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

# リカバリー USB メモリーを作成する

添付のサポート DVD はバックアップの回復作業時にのみ使用できます。  
本製品のリカバリーの際は、最新版のリカバリー USB メモリー用の プログラムファイルと書き込みツールをダウンロードして、リカバリー USB メモリーを作成してください。

## ① USB メモリーを準備する

8 GB 以上の USB メモリーを用意します。

※以下の対応 USB メモリー以外の動作は保証できません。

※ 弊社製対応 USB メモリーについては、下記 URL にアクセスし  
「安全に運用いただくための機能と動作確認済みハードウェア」をクリックします。  
<https://www.iodata.jp/product/nas/appliance/apx2-medicalqca/>



### ご注意

USB メモリーの内容はすべて消去されます。事前に必要なデータはバックアップしてください。

## ② IOPortal でユーザー登録をする

ソフトウェアをダウンロードするため、ユーザー登録してください

ユーザー登録後、本製品のシリアル番号を登録することで、ソフトウェアをダウンロードできます。

以下の Web ページにアクセスして新規会員登録をおこないます。

<https://ioportal.iodata.jp/>



[ 新規会員登録へ ] をクリックし、  
画面の指示にしたがってください。



ユーザー登録にはシリアル番号 (S/N) が必要となります。  
シリアル番号は本体側面の NAS メンテナンスカードに記載されています。  
シリアル番号 (S/N) は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。  
(例：ABC1234567ZX)

## ③最新のリカバリーファイルをダウンロードする

1 以下の Web ページにアクセスする  
<https://ioportal.iodata.jp/>

2 IOPortal へログイン



3 [ 製品を登録する ] をクリック



4 ①本製品のシリアル番号を入力



② [ 製品を登録する ] を  
クリック

5 内容を確認して、  
[ 製品を登録する ] をクリック



使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料



[登録製品の一覧へ戻る] をクリック



[OS イメージ] と [USB リカバリメディア作成ツール] の [ダウンロード] をクリック



お使いの OS をクリック



[ダウンロード] をクリック

これでリカバリーファイルのダウンロードは完了です。

#### ④リカバリー USB メモリーを作成する

お手持ちの Windows パソコンにて操作をおこないます。

- 1 ③でダウンロードしたファイルを同じフォルダーに保存する
- 2 準備した USB メモリーをパソコンにつなぐ
- 3 USB リカバリメディア作成ツールを起動し画面の指示にしたがって、リカバリー USB メモリーを作成する

リカバリー USB メモリーを作成します。しばらくお待ちください。

作成が完了したら [終了] をクリックします。

作成したリカバリー USB メモリーは大切に保管してください。

このリカバリー USB メモリーを利用して、本製品のシステムリカバリーが実行できます。

詳しくは【システムリカバリーする】(44 ページ)をご覧ください。

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

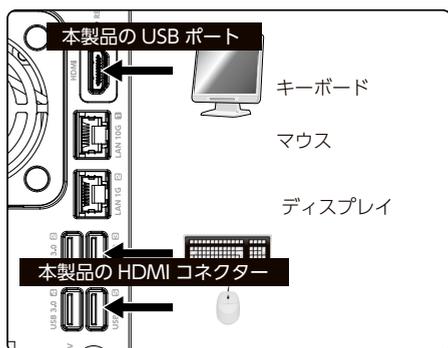
# 設置する

## 本製品を複数台導入する場合

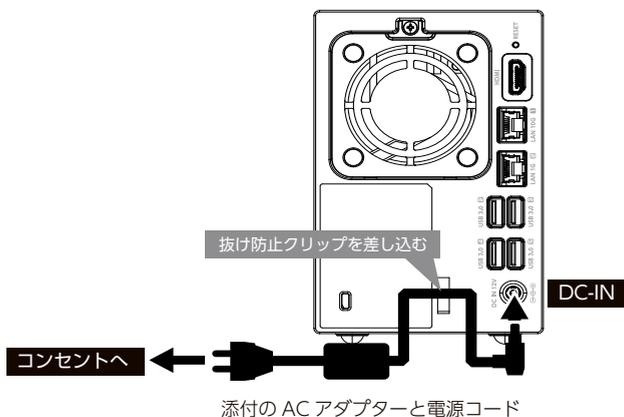
コンピューター名が重複すると、一方の本製品がネットワーク上で認識されないなどの不具合になります。先に初期設定を完了している本製品のコンピューター名を変更してから、次の本製品の初期設定をおこなってください。

【コンピューター名/ドメイン名の変更】(26 ページ) 参照

- ① HDMI コネクタにディスプレイをつなぐ  
② USB ポートにキーボード、マウスをつなぐ



- 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ  
※ケーブルフックに引っかけます。

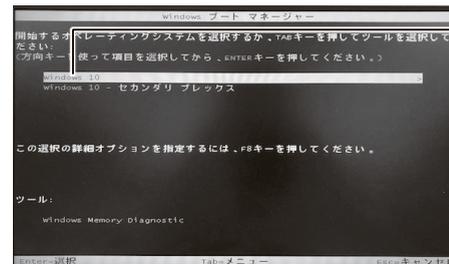


- 前面の電源ボタンを押す

### ご注意

●動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、【電源を切る場合】(20 ページ) をご覧ください。

4



キーボードの方向キーで [Windows 10] を選び [Enter] キーを押す

5



① OqsComApp の場合、[iodata] を入力  
Administrator の場合：[admin] を入力

② [→] をクリック

### パスワードを変更してください

●セキュリティのため、パスワードは変更してください。  
([パスワード変更] (24 ページ) 参照)

これで完了です。

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

# 電源を切る場合

本製品の電源を切る場合は、必ず以下の手順にしたがってください。

## ご注意

本製品が稼働中に、電源ケーブルを強制的に抜いたり、または POWER ボタンを 6 秒以上長押ししないでください。

本製品の電源が強制的に切れた場合、次回起動時に RAID の再構築が開始されます。再構築が完了するまでの 1 時間は端末の動作が遅くなりますが、再構築中は電源を切らないでください。

(再構築が完了すると、STATUS ランプが点滅から点灯に変わります)

## 本製品の電源を切る方法

### 方法①

Windows のスタートメニューを右クリックし [シャットダウンまたはサインアウト] → [シャットダウン] をクリックします。

### 方法②

本体前面の POWER ボタンを約 1 秒押し離す。

(6 秒以上の長押しはしないでください)

→シャットダウンが始まるとブザーが“ピッ”と鳴ります。

## 本製品は自動で電源の ON/OFF を設定することができます

予防起動時間を設定しておくことをおすすめします。

万一、RAID の再構築が開始されてしまった場合でも、業務に影響をおよぼしません。

## 本製品は自動で電源の ON/OFF を設定することができます

予防起動時間を設定しておくことをおすすめします。

万一、RAID の再構築が開始されてしまった場合でも、業務に影響をおよぼしません。

例) 受付時間が 8:00~18:00 の場合



## 時刻を決めて自動で電源を入れる方法

- 1 本製品の電源投入直後よりキーボードの [Delete] キーを約 0.5 秒ごとに押す  
→ BIOS 設定画面が起動します。
- 2 カーソルキーで [Advanced] → [RTC Wake Setting] を選び、[Enter] キーを押す
- 3 [Wake Up on Alarm] が [Disable] と設定されていることを確認し、  
[Enter] キーを押す  
→青いポップアップ画面が表示されます。
- 4 [Enable] を選び、[Enter] キーを押す
- 5 画面の指示にしたがって起動する日付の設定する  
(1) [Wake up every day] を選択し [Enter] キーを押す  
→青いポップアップ画面が表示されます。  
(2) [Enable] を選択して [Enter] キーを押す  
※業務開始時間の 1 時間以上前に設定することで、万一 RAID の再構築が開始された場合でも安心です。
- 6 [Alarm Time(HH:MM:SS)] を選び、キーボードで起動する時刻を設定する  
例：朝 7 時 00 分 00 秒に起動する場合  
[07:00:00]
- 7 [Esc] キーを押し、[Save & Exit] → [Save Changes and Reset] を選び、  
[Enter] キーを押す
- 8 [Save configuration and reset?] で [Yes] を選び、[Enter] キーを押す

以上で、設定した時刻に本製品が起動するようになります。

# 時刻を決めて自動で電源を切る方法

Windows のタスクスケジューラでシャットダウンの設定をします。

1 スタートの検索窓をクリックして「タスクスケジューラ」と入力し「タスクスケジューラ」を起動する



2 [操作] → [基本タスクの作成] をクリック ⇒ 基本タスクの作成ウィザードが表示されます。

3 ① [名前] と [説明] に「定刻にシャットダウン」と入力



② [次へ] をクリック

4 ① [タスクトリガー] で [毎日] を選ぶ



② [次へ] をクリック

5 ① [毎日] の [タスクの開始日時] にシャットダウンする時刻を入力



② [間隔] が「1日」になっていることを確認

③ [次へ] をクリック

6 [操作] で、[プログラムの開始] になっていることを確認し、[次へ] をクリック

7 ① [プログラムの開始] で、[プログラム/スクリプト] に「shutdown」と入力



② 引数の追加 (オプション) に「/s /t 0」と入力

③ [次へ] をクリック

以上で、設定した時刻に本製品の電源が切れるようになります。

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

機能について詳しくはヘルプをご覧ください

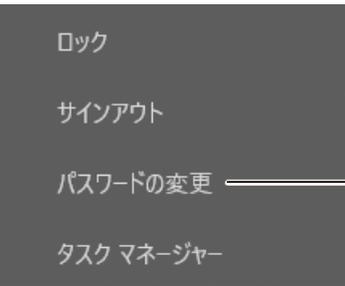
本書に記載のない機能など詳しくは、[スタート]→[ヘルプとサポート]をご覧ください。

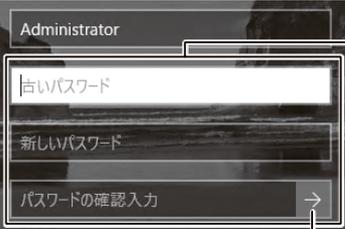
## パスワード変更

セキュリティのため、管理者パスワードは出荷時設定から変更することをおすすめします。

1 OqsComApp または Administrator でログオンする

2 キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[Delete] キーを押す

3  [パスワードの変更] をクリック

4  ①パスワードを設定  
出荷時設定  
出荷時のパスワードは下記です。  
OqsComApp の場合：[iodata]  
Administrator の場合：[admin]  
パスワードを変更した場合は、  
変更後のパスワードを入力します。  
② [→] をクリック

以上で、設定は完了です。

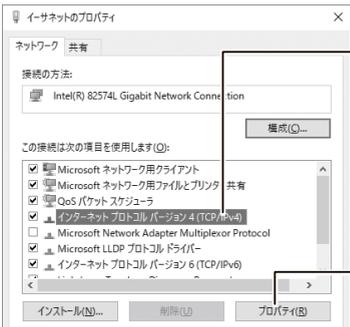
## IP アドレス設定

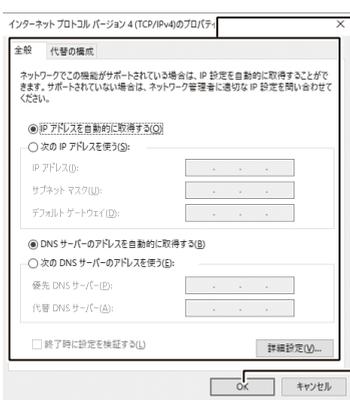
1 画面の左下にマウスポインターを移動し、右クリックして表示されたメニューの [コントロールパネル] をクリック

2 [ネットワークとインターネット] → [ネットワークと共有センター] をクリック

3  [アダプターの設定の変更] をクリック

4  ①設定する LAN アダプターを右クリック  
② [プロパティ] をクリック

5  ① [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)] を選ぶ  
② [プロパティ] をクリック

6  ① IP アドレスを設定  
② [OK] をクリック

以上で、設定は完了です。

使う前に

導入する

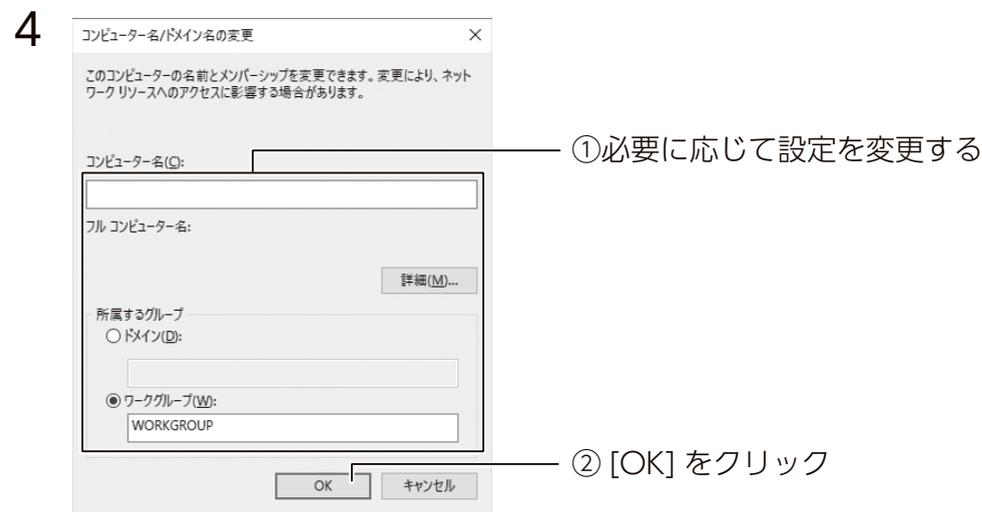
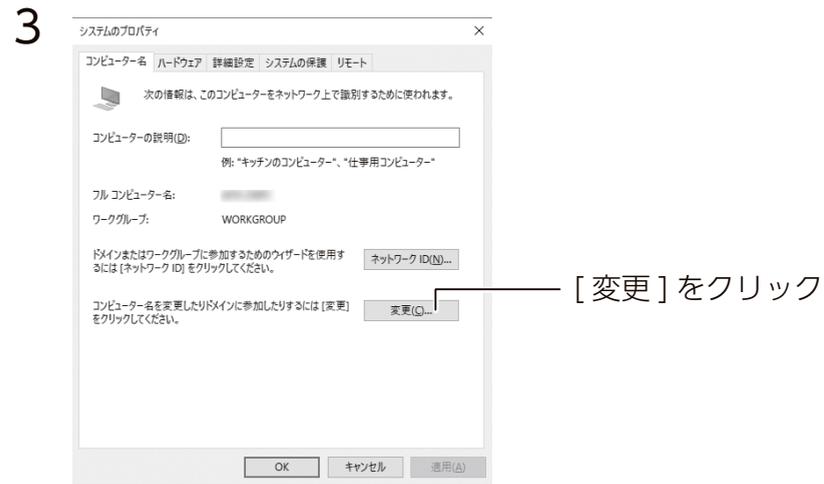
その他の設定

故障時の対応

資料

# コンピューター名 / ドメイン名の変更

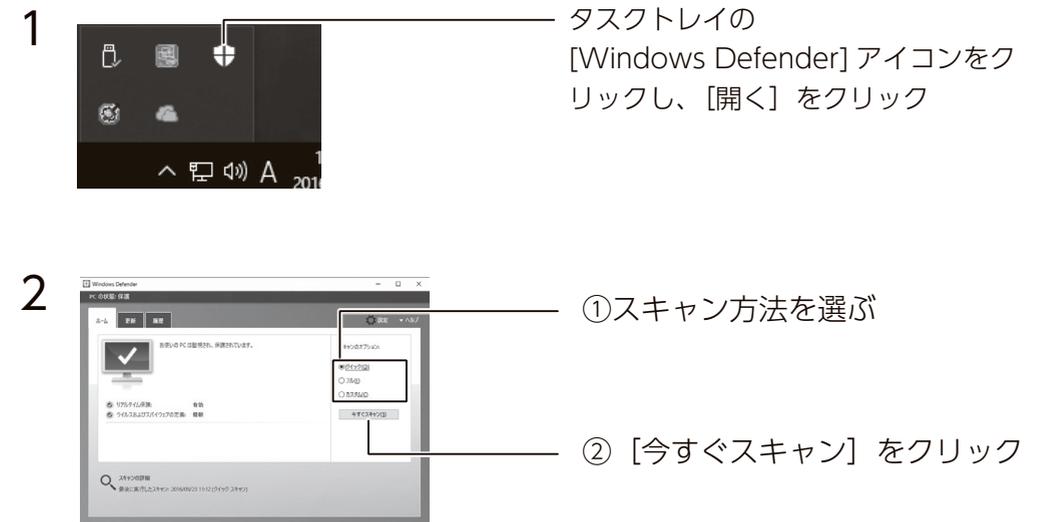
- 1 画面の左下にマウスポインターを移動させ、右クリックして表示されたメニューの [システム] をクリック
- 2 [コンピューター名] 横の [設定の変更] をクリック



このあと、画面の指示にしたがって本製品を再起動します。  
以上で設定は完了です。

# ウイルススキャン

Windows 標準のセキュリティ機能 [Windows Defender] を使用してスキャンします。  
出荷時設定で、リアルタイムスキャンが有効になっています。  
手動でスキャンする場合は、以下の方法でおこなってください。



## スキャン方法

|      |   |
|------|---|
| クイック | コンピューターの重要な部分のみをスキャンします。[フル] より短時間で完了します。 |
| フル   | コンピューターのすべてのファイルのスキャンします。                 |
| カスタム | 場所を選んでスキャンします。                            |

以上で、設定は完了です。

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

# USB HDD を暗号化する

Windows の「BitLocker」機能を利用して、USB HDD を暗号化します。

## BitLocker とは？

ドライブを暗号化する Windows 標準の機能です。  
BitLocker で暗号化することにより、不正にデータが取り出されることを防ぎます。  
ここでは、USB HDD の暗号化方法について説明しています。

## 本製品の内蔵ディスクを暗号化する場合

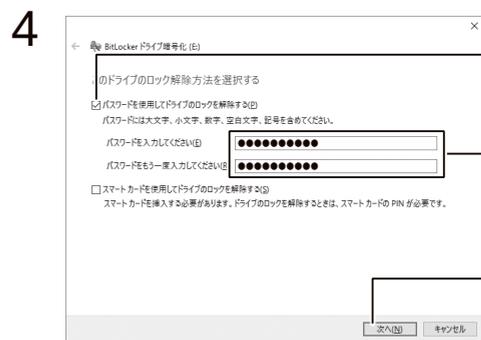
本製品の内蔵ディスクに対して BitLocker 機能を利用できません。

## USB HDD を BitLocker 暗号化する

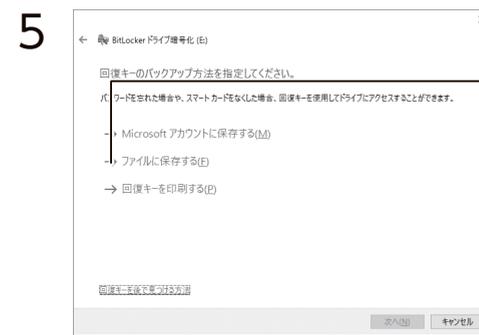
- 1 画面の左下にマウスポインターを移動し、右クリックして表示されたメニューの [コントロールパネル] をクリック
- 2 [システムとセキュリティ] → [BitLocker ドライブ暗号化] をクリック



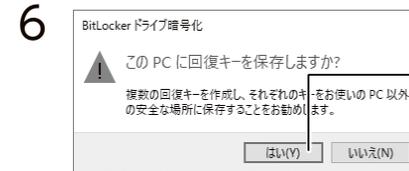
暗号化するドライブ横の [BitLocker を有効にする] をクリック



- ① [パスワードを使用して...] にチェック
- ② 解除に使用するパスワードを入力
- ③ [次へ] をクリック



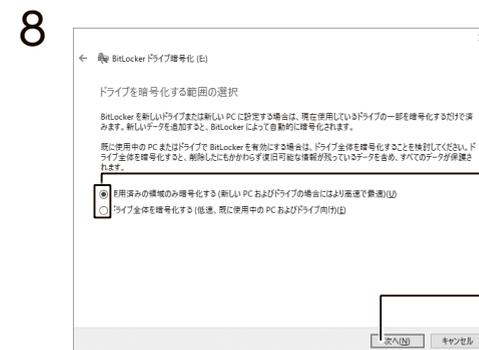
- ① [ファイルに保存する] をクリック
- ② 回復キーファイルの保存先を選ぶ



[はい] をクリック



[次へ] をクリック



- ① 暗号化範囲を選ぶ
- ② [次へ] をクリック

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

**9** BitLocker ドライブ暗号化 (E)

使用する暗号化モードを選ぶ

Windows 10 (Version 1511) は、新しい形式の暗号化モード (XTS-AES) を導入しています。このモードでは整合性のサポートが向上していますが、以前のバージョンの Windows と互換性がありません。

以前のバージョンの Windows でリムーバブル ドライブで使う場合は、互換モードを選んでください。

既定ドライブの場合、またはドライブが Windows 10 (Version 1511) 以降を実行するデバイスのみ使われる場合は、新しい暗号化モードを選んでください。

① 暗号化モードを選ぶ

② [次へ] をクリック

**10** BitLocker ドライブ暗号化 (E)

このドライブを暗号化する準備ができましたか？

パスワードを使用してこのドライブのロックを解除することができます。ドライブのサイズによっては暗号化に時間がかかる場合があります。暗号化が完了するまでの間、ファイルは保護されません。

[暗号化の開始] をクリック

**11** BitLocker ドライブ暗号化 (E)

E: の暗号化が完了しました。

[閉じる] をクリック

以上で BitLocker 暗号化は完了です。  
このドライブにアクセスする場合は、設定したパスワードの入力が必要になります。

▼暗号化時のアイコン表示



▼暗号化解除時のアイコン表示



BitLocker 暗号化を無効にする

BitLocker 暗号化を無効にする場合は、コントロールパネルの [BitLocker ドライブ暗号化] を開き、無効にするドライブの [BitLocker を無効にする] をクリックしてください。



# バックアップと復元

Windows 標準の「バックアップと復元」を使用してバックアップを作成します。  
以下の操作ができます。

- ・バックアップ設定 (スケジュールバックアップ)
- ・復元 (ベアメタル回復)

**ベアメタル回復とは？**

データが記録されていない HDD に対して、リカバリーをすることです。  
事前に決まった形式でバックアップをとっておくことで、障害発生以前に稼動していたシステムの状態に復旧させることができます。  
ベアメタル回復をおこなうためには、あらかじめ OS、アプリケーション、各種設定情報・構成情報などを VHD ファイルやディスクイメージファイルでバックアップしておく必要があります。  
重大なシステム障害が発生した際には、そのバックアップからリカバリー (回復) できます。

## バックアップ先に利用するディスクについて

バックアップ先には、NTFS フォーマットの USB HDD をご用意ください。  
※ NTFS フォーマットで無い場合は、正常にバックアップできません。  
※ フォーマット方法は、USB HDD の取扱説明書をご確認ください。

対応 HDD は、【対応外付 HDD、対応 UPS】(9 ページ) をご覧ください。

**ご注意**

- バックアップを実行する際に、USB HDD のフォーマットをおこなう場合があります。  
事前に、必要なデータは他のドライブにコピーするなどバックアップしてください。

**BitLocker 暗号化済みの USB HDD を利用する場合**

BitLocker 暗号化を解除した状態で、バックアップ設定をおこなってください。  
また、バックアップのスケジュール設定後も BitLocker 暗号化を解除した状態にしておいてください。

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

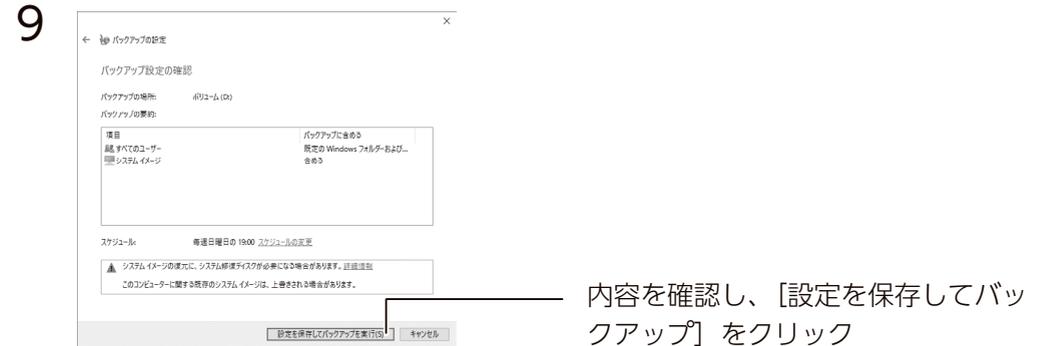
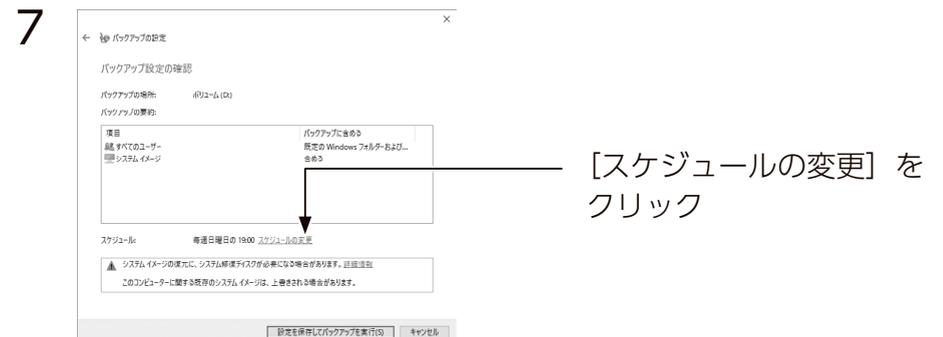
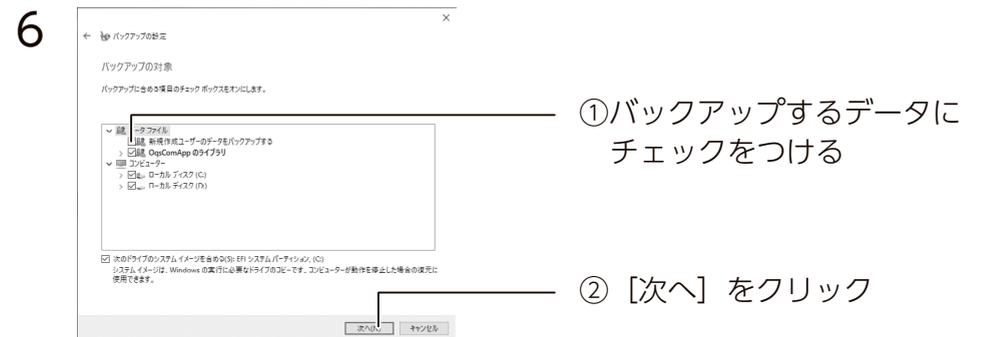
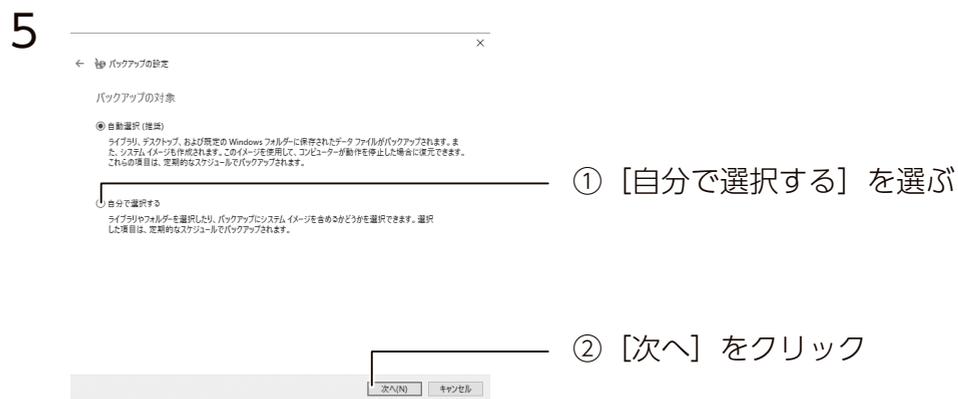
### バックアップする

- 1 Windows の [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] → [コントロールパネル] をクリック
- 2 [システムとセキュリティ] → [バックアップと復元 (Windows 7)] をクリック



#### 目的の USB HDD が表示されない

- USB HDD の接続を確認してください。
- BitLocker 暗号化をしている場合は、解除してから [最新の情報に更新] をクリックしてください。



以上で、バックアップ設定は完了です。  
初回のバックアップが開始されます。

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

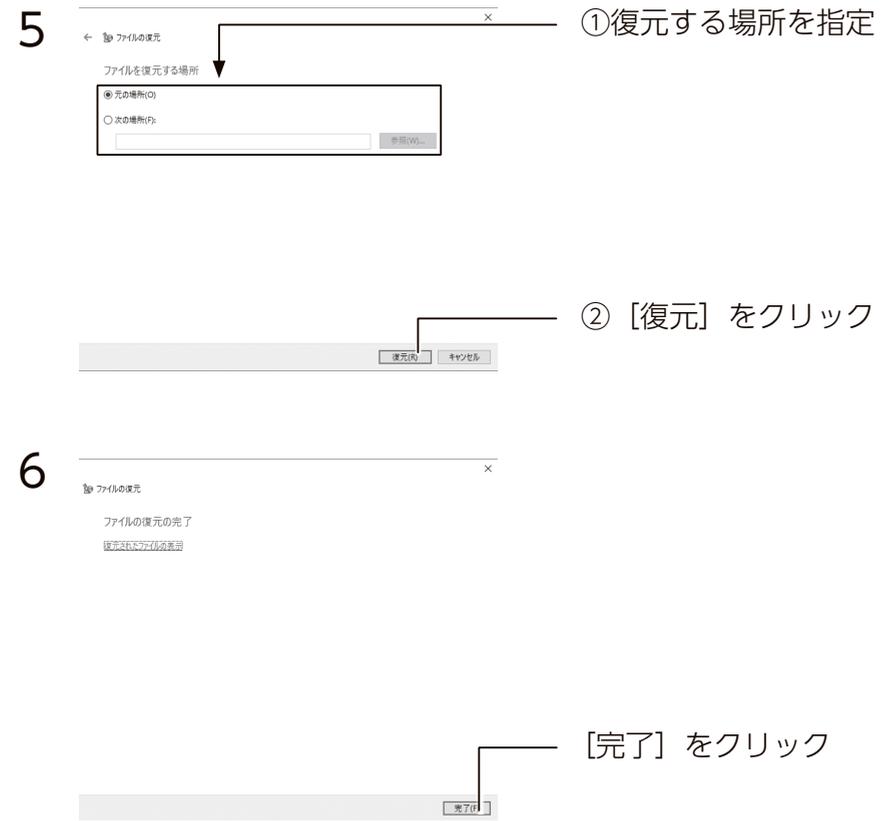
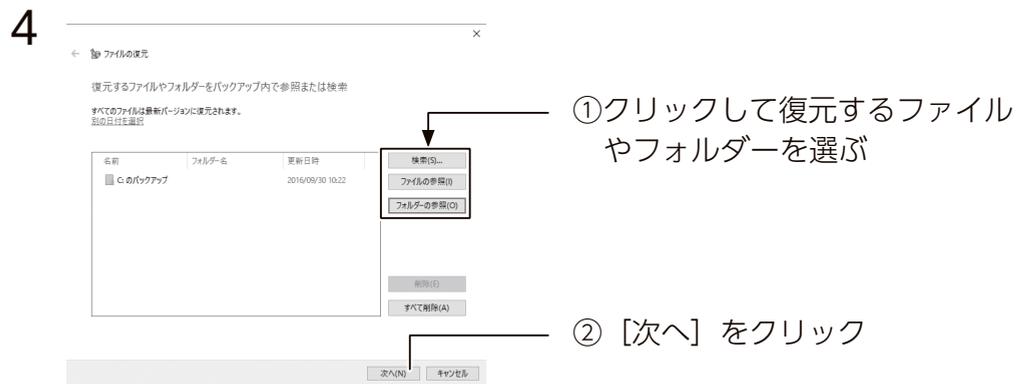
資料

## バックアップデータから復元する

バックアップデータから、ファイルやフォルダーを選択して復元する方法を説明しています。

ベアメタル回復をおこなう場合は、【ベアメタル回復】(36 ページ) をご覧ください。

- 1 Windows の [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] → [コントロールパネル] をクリック
- 2 [システムとセキュリティ] → [バックアップと復元 (Windows 7)] をクリック



以上で、復元は完了です。

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

## ベアメタル回復

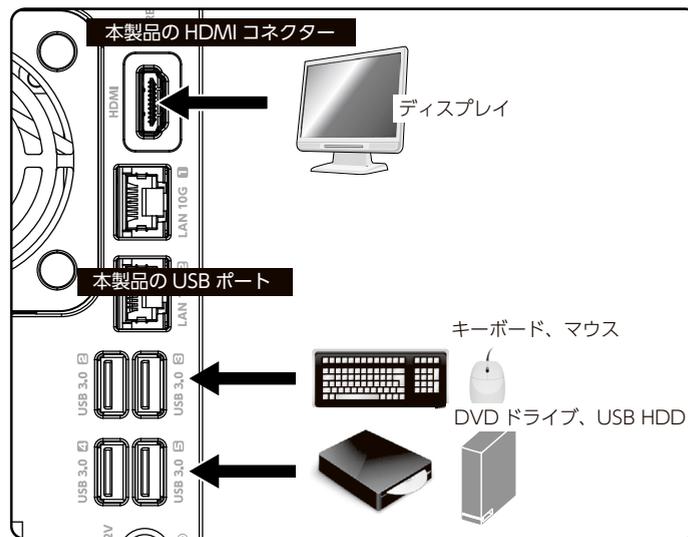
バックアップ設定時に、システムイメージを含めたバックアップをおこなっている場合は、以下の方法でベアメタル回復が実行できます。

### 準備するもの

①次の機材を用意します。

- ・ HDMI 接続のディスプレイ
- ・ USB キーボード、マウス
- ・ USB 接続の DVD ドライブ
- ・ 本製品添付のサポート DVD
- ・ バックアップデータが保存された USB HDD

②本製品の電源を OFF にしてから、上記の機材を本製品に接続します。



※ 上記以外の機器は接続しないでください。

### ベアメタル回復を実行する

- 1 DVD ドライブにサポート DVD をセットし、本製品の電源を入れる  
 ※リカバリープログラムが起動し、使用許諾が表示されます。  
 ※ 「Press any key to boot from CD or DVD....」 と表示された場合は、キーボードのキーを押してください。

#### リカバリープログラムが起動しない場合

● BIOS 設定の変更が必要な場合があります。

以下の手順で BIOS 設定を変更してください。

- ①本製品の電源投入直後より、[Delete] キーを押しつづけて、BIOS 設定画面を起動する
- ②カーソルキーで [Boot] を選ぶ
- ③カーソルキーで [Boot Option #1] を選び、Enter キーを押す
- ④ [UEFI USB CD/DVD:UEFI: xxxx] を選び、Enter キーを押す  
(xxxx は DVD ドライブのメーカー名とモデル名)  
 ※ USB ドライブの起動優先順位を最も高く設定します。
- ⑤ [Save & Exit] → [Save Changes and Reset] を選び、[Enter] キーを押す  
 以上で BIOS 設定は変更されました。上記の手順 1 より再度実行してください。

- 2 キーボードの R を入力し [Enter] キーを押す  
(「R - Windows Recovery Environment を起動する」を選択します。)
- 3 キーボードレイアウトの選択で、[Microsoft IME] を選び、[Enter] キーを押す
- 4 オプション選択で、[トラブルシューティング] を選び、[Enter] キーを押す
- 5 詳細オプションで、[イメージでシステムを回復] を選び、[Enter] キーを押す  
 ※バックアップ保存先として BitLocker 暗号化がされた USB HDD を使用している場合、BitLocker 暗号化時に発行される 48 桁の回復パスワードを入力します。
- 6 システムイメージバックアップの選択で、バックアップイメージを選択し、[次へ] をクリック
- 7 復元方法の確認で、[次へ] をクリック
- 8 復元するバックアップイメージを確認し、[完了] をクリック
- 9 [はい] をクリック

C ドライブの復元を開始します。

復元が完了すると「今すぐコンピュータを再起動しますか？」のメッセージが表示されます。一定時間経過すると自動で再起動が始まりますので、このメッセージが表示されている間に DVD を取り外し、続けて D ドライブの復元をおこないます。(次ページ参照)

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

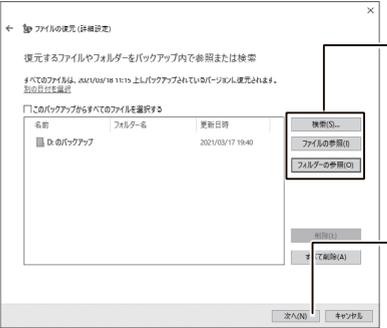
10 Windows の [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] → [コントロールパネル] をクリック

11 [システムとセキュリティ] → [バックアップと復元 (Windows 7)] をクリック

12  [ファイルの復元元として別のバックアップを選択します] をクリック

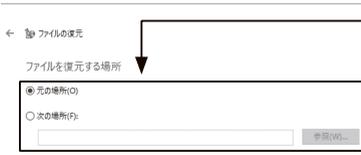
13  ①復元するバックアップを選ぶ

② [次へ] をクリック

14  ①クリックして復元するファイルやフォルダーを選ぶ

※ここで C : は選択する必要はありません。

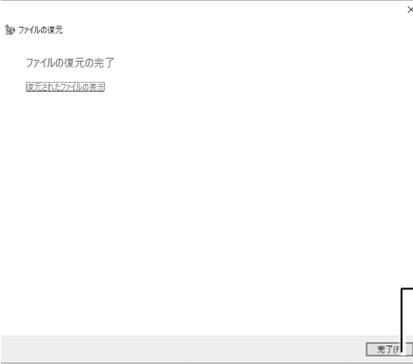
② [次へ] をクリック

15  ①復元する場所を指定

①復元する場所を指定

16  ② [復元] をクリック

② [復元] をクリック

16  [完了] をクリック

[完了] をクリック

以上で、復元は完了です。

使う前に  
導入する  
その他の設定  
故障時の対応  
資料

## 故障と思ったら…

故障したカートリッジのディスクランプは赤点灯します。  
本製品の各ディスクランプをご確認の上、カートリッジを交換してください。  
交換が必要になった場合は、ISS 保守にお問い合わせください。  
【故障時のお問い合わせ】(50 ページ) 参照

| カテゴリ     | STATUS | ディスク      | ブザー*       | 動作内容         | 対応  |
|----------|--------|-----------|------------|--------------|---|
| 通常稼働時    | 緑点灯    | 青点灯       | なし         | 正常動作         | -   |
| RAID 再構築 | 緑点滅    | 青点滅       | ピロツ        | RAID 再構築中のとき | RAID を再構築中です。再構築が完了するまでカートリッジの抜き差しを行わないでください。   |
| エラー      | 赤点滅    | 該当ディスク赤点灯 | ピッピッ、ピッピッ… | デグレード発生時     | 至急ボリュームのバックアップを取ってください。構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。  |
|          | 赤点滅    | 全ディスク赤点灯  | ピーポー、ピーポー… | RAID 崩壊時     | 至急ボリュームのバックアップを取ってください。ボリュームに対してチェックディスクを実行し、ファイルシステムに問題がないことを確認してください。ログ・メールより構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。ボリュームにアクセスできなくなった場合は、ボリュームを再構築してください。 |
|          | 赤点灯    | 全ディスク赤点灯  | なし         | 起動ディスクがない時   | 起動ディスクが接続されていません。カートリッジが正常に接続されていることを確認してください。  |
|          | 赤点灯    | 青点灯       | なし         | 温度異常の時       | 設置環境を確認し、FAN からの排熱が逃げ易い環境であることを確認してください。温度異常を検知したら自動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が起きたら FAN が正常に稼働していることを確認してください。   |
| ボリューム不正  | 緑点滅    | 青点滅       | ピー、ピー、ピー…  | ボリューム不正時     | ボリュームの状態が製品として想定外の不正な状態になっています。例えば、内蔵ディスクに C ドライブ、D ドライブ以外のボリュームが設定されている場合などに本状態となります。原因が不明な場合は弊社サポートセンターにお問い合わせください。                                       |

※ 1 RAID 状態に変化があったときにブザーが鳴ります。ブザー音が鳴った場合、Func ボタンを押す、または、ZWS Manager 上で [ブザー OFF] をクリックするとブザーが停止します。

## カートリッジの交換方法

### ご注意

- RAID 崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。
- カートリッジは、故障時以外には取り外さないでください。不用意に取り外すと冗長性が失われたり、RAID 崩壊しすべてのデータを失い、修復不能な状態になる場合があります。
- 一度に取り外しできるカートリッジは、1 台のみです。  
2 台以上を取り外すと RAID 崩壊し、保存されているデータを失うことがあります。
- マルチディスクの場合、ZWS Manager ではアンプラグできません。  
タスクトレイの取り外しアイコンから取り外すか、本製品の電源を切ってから交換してください。  
【[ステップ 2] カートリッジを入れ替える】(42 ページ)

### 【重要】ディスク 1 を交換した場合は、必ず以下の手順にしたがってください

次の手順で設定をおこなわないと、起動しないなどのトラブルになるおそれがあります。必ず以下の手順にしたがってください。

- ① 本製品の電源を切り、本製品にディスプレイ、マウス / キーボードを直接つなぐ  
(詳しくは、【設置する】(18 ページ) を参照)
- ② 本製品の電源を入れ、起動メニューで [セカンダリ] を選択する
- ③ [コントロールパネル] から [システム] → [システムの詳細設定] を開く
- ④ [詳細設定] タブの「起動と回復」の [設定] をクリック
- ⑤ 「既定のオペレーティングシステム」で、[セカンダリ] を選択し設定する

### [ステップ 1] 内蔵ディスクアンプラグ

- 1 タスクトレイのアイコンから、ZWS Manager を起動する

- 2 
  - ① [内蔵ディスクのアンプラグ] をクリック
  - ② 故障した番号を選択  
※故障時ディスクランプは赤点灯します。
  - ③ [アンプラグ] をクリック

### 「アンプラグに失敗しました」と表示された

[アンプラグ] 処理ができていません。本製品の電源を切り、【ステップ 2 リカバリーを実行する】(45 ページ) をご覧ください。

次に、故障したカートリッジを外します。次ページへお進みください。

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

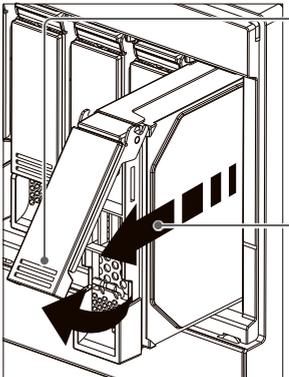
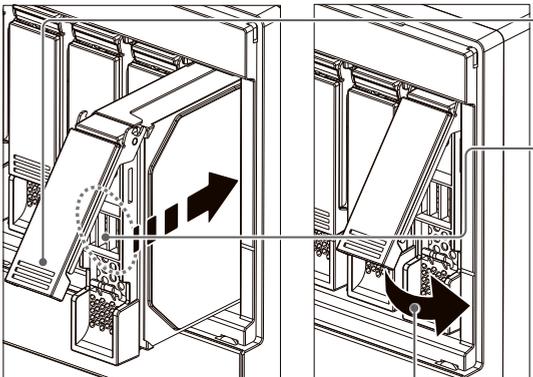
## [ステップ 2] カートリッジを入れ替える

### カートリッジ交換時のご注意

- 本製品のカートリッジは、故障時以外には取り外さないでください。不用意に取り外すと冗長性が失われたり、RAID 構成が崩壊してすべてのデータを失う危険があります。
- 必ず本製品の電源が入っている状態で、カートリッジの取り付け / 取り外しをおこなってください。このとき、STATUS ランプの点灯状況や、該当カートリッジのディスクランプが赤点滅（赤点灯でなく）または消灯していることを確認した上で取り外してください。
- カートリッジの交換の前に必要なデータはバックアップしてください。
- カートリッジの取り付け・取り外しは、必ず 1 台ずつ、以下の説明通りにおこなってください。

### 交換用カートリッジについて

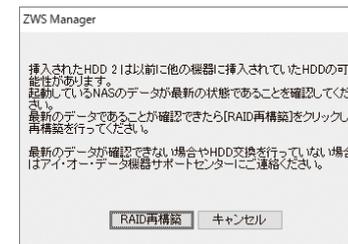
ISS 保守にお問い合わせください。（【故障時のお問い合わせ】（50 ページ）参照）

- 
  - ①取り外すカートリッジの着脱レバーを上げる
  - ②カートリッジを手前に引いて取り出す
- 本製品の電源が入っていない場合は、電源を入れる
- 
  - ①取り付けるカートリッジの着脱レバーを固定されるまで上げる
  - ②○を押しカートリッジをスロットの奥まで挿入する
  - 必要以上の力を加えない  
カートリッジを押しこむ際は、必要以上の力を加えないでください。故障の原因となります。
  - ③着脱レバーが“カチッ”となるまで下ろす

以上で、カートリッジの交換は完了です。

取り付け完了後、ZWS Manager の [ 自動再構成 ] が [ 有効 ] に設定されている場合は、右の確認画面が表示されます。画面の指示にしたがって RAID 再構築をおこなってください。

マルチディスクモード時は、交換したカートリッジを初期化する必要があります。（【システムリカバリーする】（44 ページ）参照）



使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

# システムリカバリーする

## ご注意

- システムリカバリーをおこなうと、選択したモードによっては、本製品のシステムドライブ (C:) およびデータ領域は完全に出荷時の状態に戻ります。保存されていたデータや、設定情報はすべて失われますので、必ず事前にバックアップしてください。
- システムリカバリー後、システム領域および選択したモードによってはデータ領域の再構築がおこなわれます。
- システムリカバリーは、必ずすべてのカートリッジが取り付けられた状態でおこなってください。

## ステップ 1 準備する

①次の機材を用意します。

- ・ HDMI 接続のディスプレイ
- ・ USB キーボード、マウス
- ・ USB 接続の DVD ドライブ
- ・ 【④リカバリー USB メモリーを作成する】 (17 ページ) で作成したリカバリー USB メモリー

※本製品のリカバリーの際は、最新版のリカバリーファイルをダウンロードして、リカバリー USB メモリーを作成してご利用ください。

②本製品の電源を OFF にしてから、上記の機材を本製品に接続します。

※上記以外の機器は接続しないでください。

次に【ステップ 2】へお進みください。

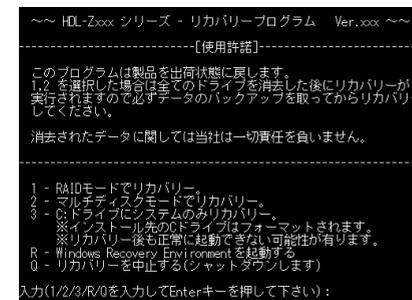
## ステップ 2 リカバリーを実行する

- 1 前面の USB ポートにリカバリー USB メモリーをセットし、本製品の電源を入れる  
リカバリープログラムが起動します。

### エラーでリカバリーできない場合、リカバリープログラムが起動しない場合

- BIOS 設定の変更が必要な場合があります。  
以下の手順で BIOS 設定を変更してください。
  - ①本製品の電源投入直後より、[Delete] キーを押しつづけて、BIOS 設定画面を起動する
  - ②カーソルキーで [Boot] を選ぶ
  - ③カーソルキーで [Boot Option #1] を選び、Enter キーを押す
  - ④ [USB Device N: XXX] を選び、Enter キーを押す  
(N はスロット番号、XXX は USB メモリーのメーカー名とモデル名)
  - ⑤カーソルキーで [Save & Exit] → [Save Changes and Exit] → [YES] を選び、Enter キーを押す
- 以上で BIOS 設定は変更されました。上記の手順 1 より再度実行してください。

- 2 [1] キーを押し、Enter キーを押す  
※ [1 - RAID モードでリカバリー] を選びます。



- 3 「本当にリカバリーを実行してもよろしいですか？ (yes/no)」と表示されたら“yes”と入力し、Enter キーを押す  
→リカバリーを開始します。リカバリーが完了するまでしばらくお待ちください。

- 4 完了のメッセージが表示されたら、リカバリー USB メモリーを取り外し、何かキーを押す

再起動後、システム領域にリビルドがおこなわれます。

※リビルド中は本製品の操作・動作が遅くなります。

## ご注意

- Windows の初期化作業のため、起動するまでに何度か自動的に再起動します。
- [1 - RAID モードでリカバリー] を行った場合、Windows 起動後にデータボリュームの生成をおこないます。データボリュームの生成には、RAID のリビルド作業を伴います。

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

## 出荷時設定

|              |                |
|--------------|----------------|
| コンピューター名     | APX-MEDICALQCA |
| ワークグループ名     | WORKGROUP      |
| IP アドレス      | 自動取得           |
| DNS サーバーアドレス | 自動取得           |
| RAID 状態      | RAID 1         |

## ZWS Manager

ZWS Manager は本製品の RAID 管理、温度管理、その他設定を行う管理ソフトです。ZWS Manager は本製品の起動と同時に自動的に起動します。初期状態はタスクトレイ上に表示されています。

### ご注意

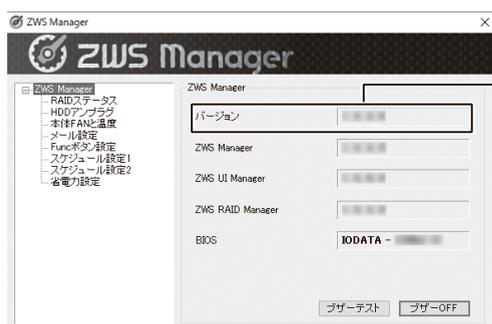
- ZWS Manager は管理者権限のユーザーでログオンした場合のみ起動できます。

### ZWS Manager メイン画面の表示方法



タスクトレイのアイコンをクリック

ZWS Manager のメイン画面が表示されます。画面左側が項目、右側が詳細情報ビューです。



ZWS Manager のバージョンは、[バージョン] をご確認ください。

### ZWS Manager ヘルプ

ログ・メール一覧などについては、ZWS Manager ヘルプでご確認ください。

<https://www.iodata.jp/lib/manual/zwsmanager-qc/>

スマートフォンなどでも閲覧できます。⇒



## I-O DATA 製アプリのアップデート方法

オンライン資格確認端末にインストールされた I-O DATA 製アプリのアップデートは出荷時自動更新となっています。必要に応じてプロキシの設定などを行ってください。タスクトレイの [APX MEDICAL Update] アイコンをクリックすると、設定画面が表示されますので、画面指示に従って設定してください。IP-VPN 回線以外をご利用の場合、回線業者から提供された情報を入力ください。※ IP-VPN 回線の場合、設定変更は不要です。

- プロキシサーバーを利用する場合（通常は初期設定値のままご利用ください）以下の画面で設定ができます。
  - ※ 設定内容については、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。



### 接続状態をテストする

上記設定画面にて、[テスト] をクリックすると、テストを開始します。

しばらくすると、結果が表示されます。

※本機能は IP-VPN 回線以外の場合にご利用いただけます。

IP-VPN 回線の場合でアップデートが提供されていない場合、テストはご利用いただけません。



自動アップデートが問題なく設定されています。



インターネット接続されていない、または、プロキシ設定に誤りがある状態です。ネットワーク管理者に接続状況をご確認ください。

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

# アフターサービス

## オンライン資格確認のお問い合わせ（2022年10月時点）

「オンライン資格確認・医療情報化支援基金関係 医療機関等向けポータルサイト」

オンライン資格確認等コールセンター：**0800-0804583**（通話無料）

月曜日～金曜日 8：00～18：00 土曜日 8：00～16：00（いずれも祝日を除く）

システムベンダ・事業者向けの問合せ先「医療機関等 ONS」

**<https://vendorons.service-now.com/sp>**

支払基金様提供のアプリケーション資料の問い合わせはこちらからお願いいたします。

## 日本医師会 ORCA 管理機構提供ソフト（MEDPost メドポスト）のお問い合わせ

日本医師会 ORCA 管理機構へお問い合わせください。

〒113-0021

東京都文京区本駒込6-1-21 コロナ第3ビル6階

TEL：**03-5981-9681**（代）

FAX：**03-5981-9682**

E-mail：**[sales@orcamo.co.jp](mailto:sales@orcamo.co.jp)**

**<https://www.orcamo.co.jp/>**

## 顔認証端末 各社お問い合わせ

### ●富士通 Japan 株式会社

受付窓口：富士通 Japan Caora サポートデスク

E-mail：**[fjj-caora-qa@ml.jp.fujitsu.com](mailto:fjj-caora-qa@ml.jp.fujitsu.com)**

### ●株式会社アルメックス

お問合せ窓口：アルメックス マイナタッチ技術支援チーム

メール：**[mynatechsupport@almex.jp](mailto:mynatechsupport@almex.jp)**

※セットアップマニュアルや運用マニュアル、管理コンソールの最新版はマイナタッチのユーザー向け会員ページから入手いただけます。

**<https://www.almex.jp/mc/mynatouch/>**

### ●パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社

・ご購入のご相談窓口

パナソニック システムお客様相談センター

**[https://biz.panasonic.com/jp-ja/support\\_cs-contact](https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact)**

・ご購入後の使い方・お手入れ・修理のご相談窓口

パナソニック 顔認証付きカードリーダー受付担当

**[face\\_cr@ml.jp.panasonic.com](mailto:face_cr@ml.jp.panasonic.com)**

※メール本文に以下を必ずご記入の上、送信ください。

- 1) 法人名・お客様名
- 2) 電話番号 ※日中、ご連絡がつく番号をご記入してください
- 3) ご購入後における相談内容

Tel：**0120-878-400**

### ●キャノンマーケティングジャパン株式会社

・ご購入前ご相談窓口

エッジソリューション企画部 Hi-CARA 製品担当

メール：**[ons-edge\\_sol@canon-mj.co.jp](mailto:ons-edge_sol@canon-mj.co.jp)**

※ご購入後のご相談窓口は、ご購入時に別途ご案内いたします。

### ●アトラス情報サービス株式会社

顔認証付きカードリーダーコールセンター

電話番号：**06-6946-2488**

営業時間：9:00～20:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー (<https://www.iodata.jp/privacy.htm>)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

故障時のお問い合わせ

設定・ご利用方法に関するお問い合わせはご購入元にご相談ください。

よくあるご質問、マニュアル、最新ソフトウェア



<https://www.iodata.jp/lib/>

電話でのお問い合わせ

**050-3000-6569**

受付 9:00~17:00 月~金曜日(祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく)

※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。

メールでのお問い合わせ



<https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/landisk>

保証期間 **5** 年間

修理について

|                  |               |    |               |    |           |
|------------------|---------------|----|---------------|----|-----------|
| ①                | ②             | ③  | ④             | ⑤  | ⑥         |
| 修理申込<br>(申込番号発行) | 修理センター<br>に送付 | 検査 | 有償時のみ<br>見積連絡 | 修理 | 修理品<br>返送 |

① Webで修理申込

【重要】修理申込をおこなうと、申込番号が発行されます。



<https://www.iodata.jp/support/after/repair/>

※Webページから修理申込がおこなえない場合は、申込番号の代わりに[名前・住所・TEL (FAX)・E-Mail・症状]を書いたメモを商品に同梱してお送りください。

② 修理センターに送付

- 商品一式
- 申込番号を書いたメモ (Web申込時に発行された番号)
- レシートや納品書など、購入日を示すもの



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地  
(株)アイ・オー・データ機器 修理センター宛  
TEL 076-260-3617

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。

※送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。  
※液晶ディスプレイ製品の場合、パネル部分を持つとパネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。

※修理の進捗状況は上記Webページでご確認いただけます。(申込番号で検索)

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

# デリバリア保守パック サービス内容 / ご利用規約

## デリバリア保守パック サービス内容

「デリバリア保守パック」は、弊社製品を安心してご利用いただくために、お客様と弊社の利用規約のもと、弊社が提供する有償サービスです。

### 1. 対象製品

弊社ホームページで、本保守パック製品の対象としてご案内する製品

### 2. ご利用の際の注意事項

- ・本サービスのご利用には、対象製品のご購入から登録期限内に、オンライン登録ページからお申し込みを行う必要があります。
- ・サービスの開始日は、対象製品のご購入日が起算日になります。延長パックの場合は、既存登録の終了日が起算日となります。
- ・本サービスのサービス期間は、最大年数まで1年単位で延長することができます。(ISS-WHG シリーズを除く)
- ・サービス期間中に解約のお申し出があっても、本サービス料金は返還されません。
- ・本サービスの対象は新品ハードウェア製品です。中古品やアウトレット品は対象外となります。また、同梱ソフトウェア類も対象外となります。
- ・空きスロットのある製品で本サービスにお申し込みいただいた場合、次の内容が追加されます。
  - ①所定の方法で追加登録をいただいた空きスロット対応ドライブも、空きスロット数を上限に本サービスの対象となります。
  - ②追加登録をいただいた空きスロット対応ドライブの本サービスの有効期間は、製品本体のご登録に準じます。
- ・(ISS-RUX/ISSR-RUX シリーズのみ)USB/eSATA 対応外付 HDD を単体利用した場合は本サービスの対象となりません。保守サービス加入済みで保守期間中の弊社製 NAS に接続しバックアップ HDD としてご利用の場合のみ、本サービスの対象となります。

### 3. サービス内容

#### (1) デリバリア

不具合製品の代替品を弊社からお客様先へお届けし、不具合製品をお引取りさせていただきサービスです。

※「HDD 返却不要タイプ」の場合で故障 HDD を回収しない場合、不具合状況確認のため、事前に対象製品のログ送付が必要となります。弊社クラウド状態管理 NarSuS(ナーサス) で対象製品の不具合状況が確認できる場合はログ送付は不要です。

※弊社が指定する UPS 商品のデリバリア (ISS-UPS-ST シリーズ) に関しては最短で翌々営業日のお届けとなります。また、弊社クラウド状態管理 NarSuS(ナーサス) で UPS 商品の不具合状況が確認できている事が条件となります。

#### (2) センドバック (「HDD 返却不要タイプ」[ISS-UPS-ST シリーズ] では選択できません)

不具合が発生した対象製品を弊社にお送りいただき、弊社で修理後、お客様先へ返送するサービスです。

#### (3) 消耗品の扱い

本サービスには、ハードディスクドライブ、FAN、電源、バッテリー、液晶バックライト等の部品代も含まれております。

#### (4) 優先電話回線

本サービスは、フリーコールの優先電話回線をご利用いただけます。優先電話回線の電話番号は、本サービスのお申し込みをされた際に管理者様に送信される登録完了メール、及び、お申し込み後のオンライン登録ページ内に記載されております。

#### (5) 不具合発生後の処置

対象製品に万が一不具合が発生した時は、保守窓口 (フリーコールの優先電話回線) へご連絡をお願いいたします。ご連絡の際は、製品名・製品 S/N・お客様番号を事前にご確認ください。弊社担当が症状をお伺いし製品不具合と判断された場合には、サービス内容の範囲で製品の交換・修理を実施いたします。詳しくは保守窓口にてご確認ください。また、対象製品が不具合と判断された場合は基本的に部品の交換とさせていただきます。製品交換が必要な場合、弊社在庫状況などにより、同型番や新品がご用意出来ない際は、同等機能の代品をもって対応させていただきます。予めご了承ください。

## デリバリア保守パック ご利用規約

下記規約に基づいてサービスを実施いたします。規約にご同意いただける場合には、所定の手続きに従ってサービスをお申し込みください。なお、弊社ウェブサイトや本サービスの申込書等に記載されているルールも本規約の一部を構成するものといたします。

### 第1条 (定義)

本規約において使用される用語の定義は、以下の各号に定める通りとします。

1. 「本サービス」とは、第4条 (本サービス内容) に定める弊社がお客様に対して有償で行うサービスを意味します。
2. 「対象製品」とは、第2条 (対象製品) に定める本サービスの対象となる弊社製品 (弊社が指定する UPS 商品を含みます。) を意味します。
3. 「不具合製品」とは、不具合が発生した対象製品を意味し、「不具合部品」とは、不具合が発生した対象製品の部品を意味します。
4. 「本保守パック製品」とは、保守パック製品のうちお客様がご購入された保守パックを意味します。
5. 「本延長パック製品」とは、本保守パック製品の内、延長パックを意味します。
6. 「デリバリア」とは、不具合製品の代替品を弊社からお客様先へお届けし、不具合製品を引取らせていただくサービスです。
7. 「センドバック」とは、不具合が発生した対象製品を弊社に持ち込みまたはお送りいただき、弊社で修理後、お客様先へ返送するサービスです。
8. 「不具合」とは、対象製品の保証書において無償修理の対象となっている故障を意味します。ただし、初期不良、着荷不良等の故障は、本規約で定める不具合には含まれません。

### 第2条 (対象製品)

1. 「デリバリア保守パック」1パッケージにつき本サービスを受けられる保守対象製品は1台です。
2. 対象製品は日本国内に設置されているものに限定します。
3. 「デリバリア保守パック」サービス内容に記載されている弊社製品 (弊社が指定する UPS 商品を含みます。) を対象とします。
4. 製品一式以外に別途購入された交換用部品は、対象製品に接続してご利用の場合でも本サービスの対象となりません。ただし、空きスロットのある製品で本サービスにお申し込みいただいた場合、所定の方法で追加登録をいただいた空きスロット対応ドライブも、空きスロット数を上限に本サービスの対象とします。

### 第3条 (お申し込み方法)

1. 「本保守パック製品」の対象製品は新品のみとなります。対象製品のご購入から、登録期限内にお申し込みください。また「本延長パック製品」のサービスのお申し込みは、既存登録分の保守終了日までにお申し込みください。登録期限・保守終了日が過ぎますとサービスをお申し込み出来ませんのでご注意ください。
2. お客様が本サービスをお申し込みされ、弊社がこれを承諾しますと、弊社から本サービスのお申し込み完了をお知らせするメールを送信いたします。本サービスのお申し込み後、万が一弊社から24時間以上 (FAX 申込みの場合は10営業日以上) メール連絡がない場合は、下記の弊社インフォメーションデスクにご確認ください。  
【弊社インフォメーションデスク】  
月～金 10:00～17:00 (祝日および、弊社指定休業日を除く)  
TEL: 0120-777-618 e-mail: iss@iodata.jp

### 第4条 (本サービス内容)

弊社は、「デリバリア保守パック サービス内容」で定めるサービスをお客様に提供致します。

詳細は「デリバリア保守パック サービス内容」をご確認ください。

1. 万が一不具合が発生した場合、基本的に部品の交換とさせていただきます。製品の交換が必要な場合、同型番品や新品をご用意できない際は、同等機能の代替品をもって対応させていただきます。
2. 本サービスの実施時間は月曜日～金曜日の午前9時から午後5時となります (祝日および、弊社指定休業日を除く)。最新情報は「デリバリア保守パック サービス内容」に記載されている弊社ホームページをご確認ください。
3. 本サービスの一部もしくは全部の実施を弊社の選任した第三者 (以下「弊社委託先」といいます。) に行わせることがありますのでご了承ください。
4. 弊社は、特段の予告をすることなく、適宜本規約および別紙のサービス内容を変更することができるものとします。最新情報は「デリバリア保守パック サービス内容」に記載されている弊社ホームページをご確認ください。
5. (ISS-RUX/ISSR-RUX シリーズのみ)USB/eSATA 対応外付 HDD を単体利用した場合は本サービスの対象となりません。保守サービス加入済みで保守期間中の弊社製 NAS に接続しバックアップ HDD としてご利用の場合のみ、本サービスの対象となります。

### 第5条 (故障情報の提供)

お客様には、本サービスご依頼の際に対象製品の使用環境・現象等の故障情報をご連絡いただけます。

### 第6条 (設置場所の変更)

設置場所を変更する場合、オンライン登録画面にログインし登録内容を変更いただくか、アイ・オー・サービスステーション

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

ンの宛先に email 又は FAX により連絡するものとします。

#### 第 7 条 (設置場所の整備)

お客様は、対象製品に添付されているマニュアル等に記載されている「設置に適した場所」に対象製品を設置し常に環境を整備、維持するものとします。

#### 第 8 条 (適用除外)

以下に該当する場合は、本サービスの対象外とします。ただし、弊社はその必要性が認められる場合には、お客様と別途協議のうえ実施時期、対価の金額その他必要事項を決定し、当該作業を行います。

1. 不具合がお客様の過失に起因する故障または破損や対象製品の取扱説明書等に記載された使用方法に反した利用取扱による場合
2. 不具合が弊社または弊社委託先以外の第三者による改造または修理による場合
3. お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃などお客様のお取り扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷
4. 弊社が定める製品設置環境条件に反したことにより生じた故障修理
5. 対象製品の移設、撤去に関する作業および立会い
6. お客様の要求による対象製品の改造、清掃、点検
7. 弊社の指定品以外の保守部材の使用、または保守部材等の保管不備のために対象製品に生じた故障の修理
8. 対象製品が接続されるネットワークの復旧作業
9. ソフトウェアに起因する事故の調査および対象製品の修理
10. 弊社が修理のために引き取った対象製品内のデータの保護
11. ハードディスク交換時のリビルド完了までの立会い、RAID 構成の設定作業、再構築作業
12. 不具合が地震、水害、落雷、火災、その他天災地変や外部要因等の不可抗力に起因する場合
13. 対象製品のシリアル No.、シールが破損もしくは汚損し識別が困難な場合
14. その他、本規約に違反していると弊社が判断する場合

#### 第 9 条 (料金)

1. 本サービス料金には、本規約に基づく全てのサービス費用を含んでいます。
2. お客様のご都合や過失に起因して不具合品を回収できない場合等の送料はお客様負担とさせていただきます。
3. お客様からの解約のお申し出や、いかなる場合においても、一旦お支払いいただいた料金は返還いたしませんので、ご了承ください。

#### 第 10 条 (有効期間)

1. 本サービスの実施可能期間は、対象製品のご購入から最大 5 年間となります (ISS-BSH/ISS-DAT シリーズのみ最大 6 年間)。対象製品ご購入からサービスの実施可能期間を超えて使用されている場合、原則として本サービスは終了します。ただし、一旦お支払いいただいた料金は返還いたしませんので、ご了承ください。
2. 対象製品が老朽化し正常な稼働維持が本サービスの実施によっても不可能であると弊社が判断した場合には、お客様と弊社の間で別途協議の上、当該対象製品の以後の取り扱いを決定するものとします。
3. 空きスロットのある製品に所定の方法で追加登録をいただいた空きスロット対応ドライブの有効期間は、製品本体の期間に準じます。

#### 第 11 条 (プログラム・データのバックアップ等)

1. 本サービスをお受けになるまでに、必要に応じて、プログラム・データのバックアップを行ってください。弊社は修復作業開始後においては、プログラム・データ等の復元については応じられません。また、これによりお客様あるいは第三者に何らかの損害が発生しても弊社は一切の責任を負いません。
2. 対象製品内に特定個人情報が含まれている場合、パスワード設定や暗号化等のアクセス制限を必ず設定のうえで本サービスにお申し込みください。弊社は対象製品内のデータを閲覧等することはありませんが、番号法のガイドラインに沿って適切なアクセス制御がされていない対象製品に対し本サービスを実施することができませんのでご注意ください。
3. 不具合部品や不具合製品は、すべて回収させていただきます。ただし、「HDD 返却不要タイプ」の場合は故障 HDD を除いての回収となります。
4. 回収後の不具合部品や不具合製品は、弊社にて自由に処分等をなすものいたします。回収後の不具合部品や不具合製品は、内部に記録された情報が外部に漏れることの無い様厳重な管理の下で処分いたしますが、重要なプログラムおよびデータ等が対象製品に保存されている場合には、交換作業前に、お客様の責任においてすべて消去してください。

#### 第 12 条 (交換部品等の所有権)

不具合部品や不具合製品の所有権は、弊社に帰属するものとします。ただし、「HDD 返却不要タイプ」の場合で故障 HDD を回収しない場合、故障 HDD の所有権はお客様に帰属するものといたします。

#### 第 13 条 (本サービスの解約)

弊社は、以下の各号に該当する場合、対象製品の本サービスを解約することができます。

1. お客様が料金の支払を履行しない場合
2. 第 14 条 (責任の範囲) 第 3 項に定める不可抗力による場合

#### 第 14 条 (責任の範囲)

1. 弊社の損害賠償責任は、請求原因の如何にかかわらず、現実が発生した直接かつ通常の損害を対象とし、本サービス料金を上限とします。
2. 弊社は、別段の定めのない限り、対象製品の使用不能期間中に代替製品等を提供する義務を負わないものとします。
3. 天災地変、戦争・暴動・内乱、輸送機関の事故、労働争議、その他不可抗力の事由により本規約に基づく債務の遅延または不能が生じた場合、弊社はお客様に対してその責任を負わないものとします。

#### 第 15 条 (瑕疵担保)

弊社または弊社委託先が実施した本サービスに、その実施の時から 6 か月以内に隠れた瑕疵が発見された場合、それが弊社の責めに帰すべき事由とみとめられた場合については、弊社は弊社の費用負担において当該瑕疵を修補ないしは、修補が困難な場合は同等またはそれ以上の機能を有する他の製品に交換します。

#### 第 16 条 (個人情報・機密保持)

1. 本サービスのお申し込みに伴い、弊社が知ったお客様の氏名、住所等の個人情報については、本サービスの実施、本サービスの満了時のご案内およびサービス向上の為にアンケートや弊社新製品の発表時におけるご案内等で、弊社プライバシーポリシーにもとづき必要限度でのみ利用させていただき、弊社においてそれ以外に利用することはございません。また弊社委託先においても弊社と同等の安全管理を行います。弊社プライバシーポリシーに関しましては、下記の弊社ホームページをご確認ください。  
(<https://www.iodata.jp/privacy.htm>)
2. お客様ならびに弊社および弊社委託先は、本サービスの実施によって知り得たそれぞれの相手方の情報を事前に相手方の書面による承諾なしに、第三者に開示・漏洩しないものとします。

#### 第 17 条 (権利・義務の譲渡の禁止)

お客様は、事前に書面による弊社の承諾を得ることなく、本サービスの実施から生じる権利または義務の全部または一部を第三者に譲渡することはできないものとします。

#### 第 18 条 (反社会的勢力との関係断絶)

1. お客様は、自己もしくは自己の役員が反社会的勢力でなく、また反社会的勢力ではなかったことおよび反社会的勢力として社会的に非難されるべき関係を有しておらず、今後も有しないことを保証するものとさせていただきます。
2. お客様が前項に違反し、または違反するおそれがあると弊社が判断した場合、弊社は本規約を何らの催告なしに解除できるものとします。

#### 第 19 条 (定めのない事項等)

本規約に定めのない事項あるいは本規約の解釈に疑義が生じた場合には、お客様と弊社において誠実に協議を行うことといたします。

#### 第 20 条 (管轄裁判所)

前条の協議によってもなお本規約に関わる紛争が解決できない場合には、弊社の本店所在地を管轄する地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

# ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

## 1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

## 2 保証対象

保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

## 3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

- 1) 保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
- 3) ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
- 4) 中古品ご購入された場合
- 5) 発火、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 6) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 7) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 8) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 9) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 10) 弊社以外で改造、調整、部品交換等を行った場合
- 11) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 12) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 13) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

## 4 修理

- 1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品ご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

## 5 免責

- 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

## 6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。

Our company provides the service under this warranty only in Japan.

# オンライン資格確認端末利用規約

本商品の利用に際しては、以下の規約の全てに同意いただく必要があり、本商品をご利用いただくお客様は規約に同意したものとみなします。なお、本規約は当社の判断で随時変更されますので最新の規約をご確認ください。

## 1・O-KSB1801

### ソフトウェア利用規約

ソフトウェア利用規約（以下「本規約」といいます）は、株式会社アイ・オー・データ機器（以下「当社」といいます）が提供する本ソフトウェアの利用に関する条件、および当社と利用者との間の権利義務関係を定めるものです。本ソフトウェアの利用に際しては、本規約の全文をお読みいただいたうえで、本規約に同意いただく必要があります。本ソフトウェアをご利用いただく場合、利用者は本規約に同意したものとみなします。

## 第1条（定義）

本規約において使用する以下の用語は、それぞれ以下に定める意味を有します。

- (1) 「本ソフトウェア」とは、ZWS MANAGER および APX MEDICAL Update を意味し、ソフトウェアの名称または内容が変更された場合は、当該変更後のソフトウェアを含みます。ソフトウェアの詳細は当社ウェブサイト等をご確認ください。
- (2) 「利用者」とは、第3条の定めに従って利用の手続きを行い、本ソフトウェアを利用するお客様を意味します。
- (3) 「対応商品」とは、本ソフトウェアに対応する機器であり、当社所定の商品を意味します。
- (4) 「端末」とは、本ソフトウェアをダウンロード・インストールする機器を意味します。
- (5) 「コンピューター・システム」とは、本ソフトウェアで利用する端末、本ソフトウェア、クラウドサーバー、クラウドサーバー上で稼働するシステム、対応商品等を意味します。
- (6) 「パスワード等」とは、本ソフトウェアに関するユーザー名、パスワード等を意味します。

## 第2条（適用）

1. 本規約は、別段の定めのない限り、本ソフトウェアの利用に関わる当社と利用者の一切の關係に適用されます。
2. 当社が本ソフトウェアの画面または当社ウェブサイト上に掲載する本ソフトウェアの利用に関するルールは、本規約の一部を構成します。
3. 本規約の内容と前項のルールその他の本規約外における本ソフトウェアの説明等が異なる場合は、本規約の規定が優先して適用されます。

## 第3条（利用契約の成立）

1. 本ソフトウェアは、対応商品を所有する利用者が、本規約に同意した場合のみ利用することができます。なお、利用者が本規約に同意し、所定の手続きを完了した時点で、利用者と当社との間で、本規約に従った利用契約が成立します。
2. 当社は、利用者が、以下の各号のいずれかに該当する場合は、本ソフトウェアの利用を拒否、抹消または利用停止をすることがあり、またその理由について一切開示義務を負いません。
  - (1) 反社会的勢力等（暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係者、総会屋、社会運動標ぼうゴロ、政治運動標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団、もしくはこれらに準ずる者を意味し、以下同じものとします。）である、または資金提供その他を通じて反社会的勢力等の維持、運営もしくは経営に協力もしくは関与する等反社会的勢力等何らかの交流若しくは関与を行っている当社が判断した場合
  - (2) 利用者が過去に当社との契約に違反した者またはその関係者であると当社が判断した場合
  - (3) その他、当社が利用者による本ソフトウェアの利用を適当でない判断した場合

## 第4条（パスワード等の管理）

1. 利用者は、自己の責任において、パスワード等を適切に管理するものとし、これを第三者に譲渡、名義変更、売買等してはなりません。
2. パスワード等の管理不十分、使用上の過誤、第三者の利用（利用者が第三者に利用の許諾をしたか否かは問いません）等によって生じた損害に関する責任は利用者が負うものとし、当社は一切の責任を負いません。
3. 対応商品を複数名で利用する場合、利用者は本ソフトウェアに係るパスワード等を自己の責任において第三者に利用させることができます。なお、パスワード等が一致した利用は利用者自身による本ソフトウェアの利用とみなします。

## 第5条（情報の取扱い）

1. 当社が利用者から個人情報を取得した場合、当社による利用者の個人情報の取扱いについては、別途当社プライバシーポリシー（<https://www.iodata.jp/privacy.htm>）の定めによるものとし、利用者は当該プライバシーポリシーに従って当社が利用者の個人情報を取扱うことに同意します。
2. 利用者が本ソフトウェアを利用するにあたり、本ソフトウェアが利用者に係る情報を自動的に収集することはありません。

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

## 第6条 (利用料金)

利用者は、別途当社が定める場合を除き、本ソフトウェアを無料で利用することができます。

## 第7条 (本ソフトウェアの利用)

1. 利用者は、当社の定める方法に従い、本ソフトウェアを利用するものとします。
2. 本ソフトウェアは、利用者が私的に使用する目的でのみ利用することができ、販売、配布、開発等の私的使用以外の目的で利用してはなりません。
3. 利用者は、本ソフトウェアを、当社が提供する状態でのみ利用するものとし、本ソフトウェアの複製、修正、変更、改変、翻案等を行ってはなりません。
4. 本ソフトウェアを利用するために必要な端末、ソフトウェア、通信回線その他の通信環境等の準備または維持は、利用者の責任と費用において行うものとします。

## 第8条 (データ)

1. 利用者は、自己の責任において、対応商品または端末に含まれるデータのバックアップ等を行うものとし、当社は当該データの滅失、損傷等について一切の責任を負いません。
2. 利用者は、前項のデータを利用することについての適法な権利を有し、第三者の権利・利益を侵害していないことについて、当社に対し保証するものとします。

## 第9条 (権利帰属)

1. 本ソフトウェアに関する知的財産権は全て当社又は当社にライセンスを許諾している者に帰属します。
2. 本ソフトウェアおよび本ソフトウェアの画面上の文章、デザイン等の著作物に係る著作権は当社または当社にライセンスを許諾している者に帰属しており、利用者は当社の承諾なく、複製、修正、変更、改変、翻案等を行ってはなりません。
3. 本ソフトウェアに関連して表示される商標、ロゴ、サービスマーク等について、当社はこれらを利用者その他の第三者に譲渡し、またはその利用を許諾するものではありません。

## 第10条 (禁止事項)

利用者は、本ソフトウェアの利用にあたり、以下の各号のいずれかに該当する行為、または該当すると当社が判断する行為をしてはなりません。

- (1) 法令に違反する行為又は犯罪行為に関連する行為
- (2) 当社、本ソフトウェアの他の利用者又はその他の第三者に対する詐欺又は脅迫行為
- (3) 公序良俗に反する行為
- (4) 当社、本ソフトウェアの他の利用者又はその他の第三者の知的財産権、肖像権、プライバシー権、名誉、その他の権利または利益を侵害する行為
- (5) 本ソフトウェアに係るコンピューター・システム等に過度な負荷をかける行為
- (6) 本ソフトウェアの提供を妨害するおそれのある行為
- (7) 当社のネットワークまたはコンピューター・システム等に不正にアクセスし、または不正なアクセスを試みる行為
- (8) パスワード等を不正に利用する行為、または本ソフトウェアの他の利用者のパスワード等を利用する行為
- (9) 当社の事前の許諾を得ることなく、営業目的又は利益を得ることを目的として本ソフトウェアを利用する行為
- (10) 本ソフトウェアに対応する当社商品以外の商品を利用して本ソフトウェアを利用する行為
- (11) 当社、本ソフトウェアの他の利用者またはその他の第三者に不利益、損害、不快感を与える行為
- (12) 本ソフトウェア利用に関するルール（本規約を含みます）に抵触する行為
- (13) 前各号の行為を直接または間接に惹起し、または容易にする行為
- (14) その他、当社が不適切と判断する行為

## 第11条 (規約違反に対する措置)

1. 当社は、利用者が本規約に違反する行為をした場合、またはそのおそれがあると当社が判断した場合、いつでも当該利用者による本ソフトウェアの利用を停止することができるものとします。
2. 利用者による本規約に違反する行為その他本ソフトウェアの利用に起因して当社に損害が生じた場合、利用者は当社に対し、その損害を賠償しなければなりません。

## 第12条 (自動アップデート)

1. 当社は、本ソフトウェアの自動アップデートを当社の裁量で行うことができ、当該アップデートにより、本ソフトウェアの提供する機能の追加、削除、変更等が行われる場合があります。
2. アップデート後の本ソフトウェアについても本規約の各条項が適用されます。

## 第13条 (本ソフトウェアの停止等)

当社は、以下のいずれかに該当する場合には、利用者に事前に通知をすることなく、本ソフトウェアの全部または一部の提供を停止または中断することができるものとします。

- (1) 本ソフトウェアに係るコンピューター・システムの点検または保守作業を定期的または緊急に行う場合
- (2) アクセス過多等その他予期しない要因によりコンピューター・システムに負荷が集中した場合
- (3) コンピューター・システム、通信回線等が事故により停止した場合
- (4) 地震、落雷、火災、風水害、停電、天災地変などの不可抗力により本ソフトウェアの提供ができなくなった場合
- (5) 本ソフトウェアを構成する第三者のサービス、ライセンス内容、および運営方針に変更があった場合

(6) その他、当社が停止または中断を必要と判断した場合

## 第14条 (本ソフトウェアの利用終了)

利用者は、対応商品における本ソフトウェアの機能を無効化することによって、いつでも本ソフトウェアの全部または一部の利用を終了させることができます。

## 第15条 (本ソフトウェアの内容の変更、終了)

当社は、当社の裁量により、本ソフトウェアの内容を変更（本ソフトウェアの修正、アップグレード、ダウングレード等を含みます。）し、または提供を終了することができます。

## 第16条 (保証の否認および責任の制限)

1. 当社は、本ソフトウェアが利用者の特定の目的に適合すること、期待する機能・商品的価値・正確性・有用性を有すること、本ソフトウェアが一定の品質（ネットワークの通信品質を含みます）を備えていること、利用者による本ソフトウェアの利用が利用者に適用のある法令等に適合すること、および不具合やセキュリティ上の欠陥が存在しないこと、第三者の権利を侵害しないこと等について、何ら保証するものではありません。
2. 本ソフトウェアの利用、または停止、終了等により利用できないことに起因して、利用者の所有する対応商品、端末、ネットワーク環境に置かれる機器等に不具合が生じた場合、その他本ソフトウェアの利用に関して利用者が損害を被った場合、当社は一切の責任を負わないものとします。
3. 本ソフトウェアに関連して利用者と第三者との間において生じた取引、連絡、紛争等について、当社は一切責任を負わないものとします。
4. 利用者は、本ソフトウェアが全ての端末に対応していることを保証するものではなく、端末のOSのバージョンアップ等により、本ソフトウェアの動作不具合、仕様変更等が生じる可能性があることにつき、あらかじめ了承するものとします。
5. 利用者は、本ソフトウェアの稼働が依存する可能性のある、本ソフトウェア以外のソフトウェア、ネットワークサービス等利用規約および運営方針の変更等に伴い、本ソフトウェアの全部または一部の利用が制限される可能性があることあらかじめ了承するものとします。

## 第17条 (外部サービスの利用)

1. 利用者は、本ソフトウェアの利用にあたり、外部サービス等を利用する場合、本規約のほか、当該外部サービス等の定める利用規約その他の条件に従うものとします。
2. 前項の外部サービスは、当該外部サービスを提供する第三者が責任を負うものとし、当社は、当該外部サービスが利用者の特定の目的に適合すること、期待する機能・商品的価値・正確性・有用性を有すること、利用者による本ソフトウェアの利用が利用者に適用のある法令等に適合すること、不具合やセキュリティ上の欠陥が存在しないこと、第三者の権利を侵害しないこと等について、何ら保証するものではありません。

## 第18条 (本規約等の変更)

1. 当社は、本規約を変更することができるものとし、本規約の変更の効力発生後も利用者が本ソフトウェアの利用を継続した場合、本規約の変更（変更後の本規約全体）に同意したものとみなし、最新版の規約が適用されます。
2. 前項の変更は、変更後の本規約および効力発生時期をインターネットの利用等の相当な方法で公表し、公表時に定める相当な期間が経過した日に効力が発生します。

## 第19条 (連絡・通知)

本ソフトウェアに関する問合せその他利用者から当社に対する連絡または通知その他当社から利用者に対する連絡または通知は、当社所定の方法で行うものとします。

## 第20条 (利用契約上の地位の譲渡等)

1. 利用者は、当社の書面による事前の承諾なく、利用契約上の地位または本規約に基づく権利もしくは義務につき、第三者に対し、譲渡、移転、担保設定、その他の処分をすることはできません。
2. 当社が、本ソフトウェアにかかる事業を第三者に譲渡し、または合併もしくは会社分割等により本ソフトウェアに係る事業を承継させたときは、当社は、当該譲渡等に伴い、本利用契約上の地位、権利および義務ならびに利用者の情報を当該譲渡等の譲受人に承継させることができるものとします。

## 第21条 (分離可能性)

本規約のいずれかの条項またはその一部が、消費者契約法その他の法令等により無効または執行不能と判断された場合であっても、本規約の残りの規定および一部が無効または執行不能と判断された規定の残りの部分は、継続して効力を有します。

## 第22条 (準拠法及び管轄裁判所)

1. 本規約の準拠法は日本法とします。
2. 本ソフトウェアや本規約に起因し、または関連する一切の紛争については、金沢地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

2021年1月

I-O DATA DEVICE, INC.

使う前に

導入する

その他の設定

故障時の対応

資料

MEMO

**【ご注意】**

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。  
したがって、別段の定めが無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、発火事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、発火延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。  
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

APX2-MEDICA/QCA シリーズ 管理マニュアル  
発行 株式会社アイ・オー・データ機器

商品アンケートにご協力願います



型番 APX2-MEDICAL/QCA(本体およびディスク)

保証期間 ご購入日より 5 年間有効です\*

\*添付品の保証期間は以下の通りです。

- ・キーボードおよびマウス 1年間有効
- ・汎用カードリーダー 3年間有効

|    |                                 |   |
|----|---------------------------------|---|
| ☆お | ふりがな                            |   |
|    | お名前                             | 様 |
| 密  | TEL (            )            - |   |
| 様  | 〒□□□-□□□□                       |   |
|    | ご住所                             |   |

[ハードウェア保証規定]をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。  
記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。  
販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。  
また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

|             |                                 |
|-------------|---------------------------------|
| 販<br>売<br>店 | ご購入日                            |
|             | 住所・店名                           |
|             | TEL (            )            - |

印

ご販売店様へ

1. お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご購入日欄に記入し貴店名/住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
2. 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社(修理センター宛)にご依頼ください。

I-O DATA



株式会社 アイ・オー・データ機器

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 アイ・オー・データ機器

<https://www.iodata.jp/>